

## 平成29年度 第3回山北地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成30年1月29日(月) 午前10時00分～午前11時19分
- 2 開催場所 村上市山北支所 会議室
- 3 出席委員 富樫保晴、板垣茂樹、齋藤寅二、河面秀喜、本間美喜雄、佐藤庄平  
齋藤昭夫、齋藤玲子、富樫房子、渡辺美紀子、加藤英人
- 4 欠席委員 富樫榮晴
- 5 出席職員 齋藤支所長、渡辺教育事務所長  
(事務局) 地域振興課；大滝室長、富樫副参事、真田主査  
政策推進課；山田課長、東海林室長、田村係長、加藤主任
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成29年度 第3回 山北地区地域審議会 次第

日 時：平成30年1月29日（月）

午前10時00分～

場 所：山北支所 会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

(1) 市町村合併のまとめ（案）について

… 資料1

4 その他

5 閉 会

氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠
齋 藤 寅 二	出	河 面 秀 喜	出	本 間 美喜雄	出
佐 藤 庄 平	出	齋 藤 昭 夫	出	板 垣 茂 樹	出
富 樫 榮 晴	欠	富 樫 保 晴	出	齋 藤 玲 子	出
富 樫 房 子	出	渡 辺 美紀子	出	加 藤 英 人	出

## 会 議 経 過

### 1. 開会 (10:00)

事務局； 本日はお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。

本日の審議会の出欠ですが、富樫榮晴委員から都合により欠席との連絡が入っております。

ご参会予定の皆様は一人を除いてお揃いになりました。定刻になりましたので始めさせていただきます。

それでは、ただ今から平成29年度第3回山北地区地域審議会を開会させていただきます。最初に富樫会長からあいさつを申し上げます。

### 2. 挨拶

会長； 皆様おはようございます。悪天候の中、お集まりいただきましてありがとうございます。

当審議会も本年度第3回目となり、いよいよ最終回を迎えております。

これまでを振り返り、今後審議会はなくなりますがまた別の会ができそうでもあります。そのような中で、本日は新しいまちづくりに向けて、皆様のご意見を聞かせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

事務局； それでは、さっそく議題に入らせていただきます。議事の進行については、会長よりお願いいたします。

### 3. 議事

#### (1) 市町村合併のまとめ (案) について

会長； それでは、議事に移ります。市町村合併のまとめ (案) について、事務局から説明をお願いします。

事務局；【市町村合併のまとめ (案) について説明】

会長； 今程、皆様からいただいたご意見等をまとめた資料等について、説明がありました。これらに関して質問等はございませんでしょうか。

委員； まとめ (案) 12ページに保育園数の推移があつて13ページに保育士の数があります。正規の保育士が減つていて臨時保育士が増えていますが、未満児の入園希望が増えている実態があります。職員の確保が難しいというが、臨時保育士の確保が難しいのであつて、正規職員であれば可能なのではないかと思うのですが、正規保育士を望む声が多いと思うので、その辺を考えていただきたい。

事務局； 昨年度から、正規保育士は必要だとのことで方向については転換させていただきました。合併時に職員数そのものを削減していくという考えがあつたものですから、それが保育士の臨時の方を増やすことに繋がつたということです。

今は、二つの対応をしており、新規で新卒の方を採用するのと、臨時保育士として働いている方を正規職員として採用しています。併せて臨時保育士の方の給料を増額して対応させていただき、待遇改善を図っております。未満児希望が多くなつたことで臨時保育士の数が増えていることも事実です。これから

少子化もあり保育園の統廃合も視野に、一度に増やすのではなく徐々に増員する方向で動いている現状です。一度に10人、20人を増やすことはできかねることをご理解いただきたいと思います。

園児数の推移データについては、追加させていただきたいと思います。

会 長； よろしいでしょうか。はい次お願いします。

委 員； 細かなことですが、13ページの職員数では総務、企画、財政の部分でどのくらいの推移になっているのか、また、産業は官と民が一体となって展開することが効果を生むと思うので、力を入れていっていただきたいと思います。

事務局； ご意見として賜ることとなるかと思えます。この場でそのような会議を持つということにはならないことはご承知おきいただきたいと思えます。

それでも、この関係については市長も力を入れなければならないと言っています。ご存知かもしれませんが、今年4月から商工観光課を二つの課にします。商工の部分と観光の部分、それと農林水産課の6次産業の部分が商工の関係とリンクしていることなど動き出しているので、ご承知おきいただきたいと思えます。

委 員； 今の産業団体の中では、手詰まり感、どうやってやったら良いのかを模索している状況ですので、産業団体と行政が一体となって検討できるよう行政がリードしていただきたいと思えます。

事務局； ご意見として賜ります。

前段の総務、企画、財政の職員数の推移ですが、合併以前のことになるため、確認が取れれば追加させていただきます。

委 員； 公共交通のことですが、特に山北地区は地理的に不利な条件であり、自分で移動できていた方が、これから免許返納すると今後移動難民につながる恐れがあります。それを解決するための検討については、誰がどこで、どのようなスケジュールですのか何も見えません。どこに意見をもっていった良いのかも見えません。山北地区の方は我慢強いので、徳洲会病院のバスで病院に行くときに用事を足すからそれで良いといった雰囲気もあるのですが、こういった形で進むのか見通しすらないので示していただきたい。

もう一つは、小さな拠点といいますか、サービスエリアよりインターチェンジから下りて山北地区は賑わいづくりだよという検討が、市としてどうなるかもなかなか見えてこない。前回あった商工懇談会で市長は次年度に委員会を立ち上げると回答いただきましたので、具体的な動きについて示していただきたいと思えます。先が見えないことが皆さんの閉塞感に繋がっていると思えますのでそのあたりをお願いしたいと思えます。

事務局； 確認したいのですが、公共交通の中で移動範囲の件ですが、旧山北町内での移動と、長い距離での移動と二種類あると思うのですがどちらでしょうか。

委 員； 両方です。例えば、今朝日道の駅から高速バスに代わるモノを走らせているが、山北地区の方はそれを利用するにもそこまで独自で行かなければならない。そのあたりの配慮が足りないと思えます。財政的なこともあるかもしれませんが、遠い近いではなく、全て村上市の市民であって平等にお願いしたいですし、

山北地区内の医療機関や郵便局、山北支所で用事を足すにも移動できない人が増えています。買い物困難も含めてですが、買い物は選ぶ楽しさを満たすことが必要だと思うのですが、そのようなことの改善をお願いしたい。

事務局； 分かりました。地域内の交通と距離をかける交通は考え方が若干違ってくるかと思しますので、それらを整理して担当課へ話したいと思います。

委員； 公共交通を検討している委員会がありますが、そちらからは山北のことは山北で案を上げてくださいますとありました。上げてくださるはいいけど、どこでどのようにどう上げるのかが何も示されていないのでそこでストップしました。投げられたと捉えています、山北の中で、どこでどう検討するのかをしっかりと示していただきたいのと、少しずつでも山北の人の意見を吸い上げていただければいいと思います。

事務局； 担当とすれば、自治振興課になるのですが、伝えたいと思います。

あと拠点のことについてですが、市でどこまでのことが可能なのか、内部的な話になるのですが、まだ中途半端な状況もありますので、少し整理する時間をいただきたいと思います。

会長； その他ありますか。

委員； 18ページの地域の在り方に関してですが、平成26年度からは地域おこし協力隊、平成29年度からは集落支援員を配置したとありますが、支援員を荒川地区に1名配置したとあります。山北地区と朝日地区の地域おこし協力隊員は伝統工芸や農業再生に力を入れているような方が多いように思われます。その中で朝日地区の意見の中に地域おこし協力隊員は地域と赴任する方の意見が一致することは難しく集落支援員で支援した方が、効果があるのではないかとあります。地域おこし協力隊員は各自治体で取り合いになっており厳しいのではないかと新聞報道もあり、集落支援員と地域おこし協力隊員の違いを聞かせてください。

それと、荒川地区に集落支援員は1名とありますが、今後山北地区にも導入するのか、各地区にも導入できるようになるのかをお聞かせいただきたいと思っています。

事務局； 地域おこし協力隊員と集落支援員の任務の違いということでは、基本的にはあまりないと思っています。地域おこし協力隊員は主に首都圏都市部から村上市に入ってくるというのが基本で、集落支援員は地域を知っていれば可能ですが、一般的には地域内から採用するのですが、地域外からでも地域を知っていることが条件であるため、山北地区でも、もし採用するのであれば地域外からの優秀な人材を呼び込みたいとは考えています。実現できるかどうかは今、答えられませんが、基本的に集落に入るのは前提ですが、村上市の集落支援員は各まちづくり協議会との共同活動を含めていますので、将来的に考えているのは、まちづくり協議会をベースとして地域に入ってもらいたいと考えています。すぐできるかどうかは不透明です、荒川地区に現在配置された集落支援員の方は、荒川地区の方で市の職員と一緒に地域に入りながら関係づくりを行っています。現在の行動は集落支援員も地域おこし協力隊員もスタートは一緒だと

思っています。

地域おこし協力隊員も集落支援員も地域も連携する形で地域づくりを行っていかねばならないと考えており、自分たちが考え、できることを自分たちが連携して実施できるように考えています。

山北支所の自治振興室内での考えは、山北地区の旧5地区にそれぞれ配置して活動できれば良いと考えています。いろいろな面で実現できるかどうか答えられませんがそのような構想を考えています。

今ほどの説明にもありましたが、荒川地区に配置しました集落支援員の活動がなかなか見えない状況もあり、検証しながら、山北地区や朝日地区からの要望もありますので、徐々に増えてくるのかなと考えています。

委員； そうしますと、集落支援員の募集はまちづくり協議会をベースに募集するとか、どういった方向で配置していくかも未定とのことでしょうか。山北地域こそ新しいことを取り入れていかねば、閉塞感に満たされていると思いますから、他所でやっていないうちにやらなければいけないと思います。地域おこし協力隊員と集落支援員とが連携して行わないと間に合わないし、効果は出てこないと思います。

交流人口の拡大もそうですが、外からくる人を増やしていかないことにはこの地区は成り立っていかなくなると思いますが、そのへんの募集についても決まっていないということでしょうか。

事務局； まちづくり協議会で募集するというのではなく、募集はあくまでも市で募集します。活動の基盤として今考えているのは、まちづくり協議会を通じて地域に入る。まちづくり協議会は独立した民間の活動とする設立当初の目標もあり、それらも含みながら活動していただきたいと思っています。

地域おこし協力隊員は起業を目指すことも目的にあるが、集落支援員は住民と一緒に活動することが基本となっておりそのような区別はあるかもしれません。

地域おこし協力隊を3年受け入れて思っていることは、確かに全国的に取り合いがあり、難しくなっていることから、将来的には移住の取組に繋げたいと思っています。仕事は抜きにしても、ここが好きで移り住んでくれる方を呼び込みたいしそのような体制を作りたいと私たちは考えています。移住についても村上市の取組は遅れていると言われていました。地域おこし協力隊員等のように仕事を作ってというより、仕事は移住される方が持ってくれば良いとの考え方です。外からの人が頑張っている姿を見ることによって、地域の人が刺激を受け、地域の人が頑張る仕組みづくりが重要であると思っています。一緒に行くことも必要なのですが、頼りっきりで、地域とのすれ違いが生まれてくるので、地域の方が刺激を受けて自らが頑張れるようなところに重点を置いて取り組んでいきたいと思っています。

委員； 地域おこし協力隊員などでせっかく来ていただいた方は、やる気を持ってきていただいているわけですから、3年たって反省と改善をしているということは良いと思います。

会 長； 集落支援員の要望は、集落から声が上がるのを待っているのでしょうか。それとも問題がありそうな集落に市から手を差し伸べるということなのでしょうか。集落によっては問題を抱えながらも声をあげられないような集落もあるのですが、まだ気づいていない集落もあるようにも思いますが。

事 務 局； 他の地区ではそのやり方が一般的な入口だと思いますが、山北地区の場合は、それは該当しないと思っています。今のところは、まちづくり協議会という受け皿を使って地域に入り、問題を住民に周知し、その地区にあった解決方法を探るような活動の支援員であってほしいと思っていますので、要望があればそこに入れるといったようには考えていませんし、要望はお受けしますが、総合的に判断して緊急性があるような場合には、地域おこし協力隊員もそうですが、私どもの範囲になるかもしれませんが優先度を判断して配置していきたいと思っています。

山北支所では今言ったように考えているが、村上市として統一したコンセンサスは取られていません。今荒川地区で配置された集落支援員もモデルケースとして導入しているため、結果がどうなるかも分かりませんが、有効であれば山北にも配置されるでしょうし、検証期間として今見ている状況です。

ただ、荒川地区で入れているケースと山北地区で考えているケースとは主たる活動形態が違うので、こちらとしての参考になるか少し疑問はあります。

委 員； 話を聞いていて思ったのですが、全体を通して、モデルケースとか言っていますが、要望が出ていても結果が聞こえてきていません。住民は高齢化しており、待てないのです。3年なら3年といったように期間をちゃんと区切って示してほしいと思います。神林でも集落支援員を導入することですがその結果はいつ出るのでしょうか。山北の方はまじめで一生懸命自分たちのことを考えてやっているのです。買い物にも行けない。その現実を地元の人でなければ分かりません。机上で一生懸命やられているのも分かります。ただ、私たちも村上市民であり、安心して暮らすにはどうしたら良いか、もう少し目線を低くしてスピード感を持って本気になって考えていただきたい。住民の人たちに投げかけても動かないなんて言うのは、こうやって住民の人は声を出しているのですから、生涯学習センターなんていうのは10年たっても実現しない。皆さんの意見を集めて方向性が出ていたにもかかわらず、その意見がどこに行ったのか頓挫していますし、とにかくどこでどうやって完結するのか形が見えてこない。住民はいらだちを持っています。そして担当者が変わる、その度に前に出した文書が消えてしまう。そのようではなかなか進まないと思います。

集落支援員をまちづくり協議会でやるというのは非常に良いことだと思います。ぜひ実現に向けて早期に実施していただきたいと思います。

地域の方は非常に頑張っています。人口が減っているからという理由ではなくて、地方も中心地と変わらないサービスを受け、また変わらない施設が利用できることが理想ですので、実現できるように考えていただきたいと思います。

会 長； 他にありませんか。

委 員； 今年度初めての参加となってしまいましたが、前に出ているれば申し訳ないの

ですが、資料ナンバー2のところで交流人口の拡大ですが、山北地区の百姓やってみ隊の平成13年からの実績が載っていますが、継続してやっていることがとても大事であると思いましたが、もう少し充実して継続できるようまた予算付けもお願いしたいと思いましたが。

事務局； 今のご意見は前回の資料として出ささせていただいた部分ですが、周辺部に対応する取組ということで、空き家バンクと百姓やってみ隊について具体的な数値を掲載させていただいております。委員の話されたとおりに継続して取り組むことで効果を生んでいることでもありますので、そのような考え方で取り組みを進めさせていただきたいと思っています。

委員； 是非お願いしたいと思えます。

会長； 最後の審議会ですので何かありましたらお願いします。

委員； この会に直接関係ないかもしれませんが、学童保育所の指定管理を受けているのですが、山北地区は平成32年度に小学校と保育園が同時に統合され、勝木の保育園を子育て支援センターと学童保育所にするということで進められています。

実際には保育園は年度末まで使用するわけで、空いた保育園を使用するまでにトイレ改修等を行わなければならないのですが、そのような改修の必要がある対象箇所を上げてほしいと担当課から言われており、どのようなスケジュールで進めればよいかをできるだけ早く示していただきたい。学校と保育園で2つの課になるかもしれませんが、こちらの準備もあるので、的確にお願いしたいと思えます。

事務局； 学童保育所と保育園は両方とも福祉課で扱っていますので、そちらに話しておきます。日程はくみ上げていると思いますが、具体的にはまだなのかもしれませんので伝えておきます。

委員； 一時的に府屋の学童保育所に集まるようになると思うが、移動にバスを利用しているためその辺の事もあると思えます。子供たちを送り出す学校との関係もあるかと思えます。

事務局； その辺の日程のことも詰めていかなければいけないことだと思えますので、具体的に詰めるよう打合せの話がありましたと伝えたいと思えます。

今のところは、学童保育所を運営しながら、トイレ等は大人用のトイレを利用してもらいながら改修していく予定で考えているのですが、そのあたりを関係部署と相談しながら進めていくこととなります。

委員； 学童保育所は4月1日から預かることとなるので、すぐに移ってくださいといってもなかなか難しいのですが。

事務局； 相談しながらやらないといけないと思っています。

打合せの窓口としては山北支所の地域福祉室も入ります。

会長； 他にありませんか。

委員； 若い世代の定住についてはいろんな地区で取り組んでいるようですが、高齢化が進んでいてこの地域の将来像が不安であり、若い人たちに住んでもらいたいと思っています。他の自治体では様々な優遇制度を展開していますが、村上



市では若い人たちがこの地域に住んでみたいと思うような施策があるのかどうか、どのように考えているのかをお聞かせ願いたい。

事務局； 具体的なプランは持っていないのが現状です。様々な要素がありまして、働くところがないからだとか言われますが、企業が入ってくれたらそこに就職してくれるかと言えばそうではない。今も募集してもあまり集まらないため、企業もなかなか踏み出せないでいる実情があります。人口が減るということを何とかしなければいけないということで、総合戦略にいくつかメニューを上げて取り組んでいます。住む人もそうですし、来てくれる観光客もそうですし、移住定住にはつながらないかもしれませんが、知ってもらうことが大事で、やっていますがそれが何年経てば効果が出てくるかも難しいです。何もやらないわけにはいかない、継続的に取り組んでいく、またこの先これが効果的だというものが出てくれば当然それをやるべきかどうかという判断をしていかなければならないと思っています。

あと簡単に言えば、保育料など全部無料にしていけば良いのではないかとの話もありますが、一回無料にしたものを財政が厳しくなったから来年からお金をいただきますとはすぐには言えないだろうと思いますので、将来を見越した中で継続していけるかどうかを考えていかなければならないし、現在の制度を広げるかどうかも考えていかなければならない。あと医療費を18歳まで無料にといった話も出ていますが、市の負担増にもなり、県でも見直しの話もあることから考えていかなければならないと内部的にはありますが、今は具体的なお話ができる状況にはありません。

委員； 高齢化が進んだ今、若い方を中心に政策を打つことに関しては納得しています。と言うのは、若い人たちを大事にしなければ自分たちが生きていけないことを皆さんは理解しているからです。若い人たちに来てほしい、そのためには自分たちは少々我慢するといった意識でいるので、継続できないといった判断もあるかと思いますが、まずは手当をしてみて、結果そうならなかったら戻しますよと言ってもいいと思います。受け入れられない状況ではないと思います。本当に若い人たちがいなくなります。お嫁に来てもとてもここでは生活していけないといった方が数多くいます。本当に村上市は不便だなと痛切に感じています。若い人を受け入れるための制度を考えていただきたいと思います。

会長； 後はありませんか。

委員； 私も同じ思いなのですが、住み良い所として、山北地区は人口も一番減少していますし、みんなは住みにくい所として山北地区を出て行っていますが、それを逆手にとって、そういう所こそ宝があると言った、食べ物や自然も、そういったところを逆手にとっても良いのではないかと思います。

山北地区だけ優遇することにはならないのですが、あそこに住んでみたいというような施策、場所でも何でも良いのですが、そのような何かがこの地域にないと寂しいと思いますので、山北地区は大目に見てくださいではないですが、これだけ現実に少なくなっていますので手当は必要だなと考えますがいかがでしょうか。

事務局； おっしゃることはごもっともな点はあるかと思えます。その地域の宝、これだけは負けないぞという強み、それらの人を引き付ける力は、地域、あるいは入ってきた方が一番分かるのではないかと思っています。そういう意味では行政だけでもできませんし、地域の方も含めて具体的アイデアを出していくことも必要だと思えます。それが両輪で一緒にやりましょうといった姿勢だと思いますので、任せるからと言った考えではできないので、お互いに良いアイデアを出し合いましょうとしか、思い浮かびませんが。

委員； それが仕組みづくり、まちづくり協議会もそうですが、いろいろな協議会もありますが、そういうところなのでしょう。

事務局； 新たに委員会を作りましょう、何をやりましょうかでは、大変なことになるので、今ある組織の中で、特にまちづくり協議会なんかはそれに長けている部分があるのではないかと思っています。併せて山北には地域おこし協力隊員がいて外からの目があるわけですから、それらから良いものが出てくるのが一番かなと思います。

委員； 本当に新しいモデルで、ここにしか無い魅力でなければ、若い人たちが定住することは考えられません。

事務局； 今はグルメの時代で、山の中でそばを打って美味しいそばと言うだけで、遠くから食べにくるお客さんがいる。それらの素材を発見し、メジャーなところまで持っていけるかどうか等いろいろな手法が出てくると思いますが、その核となるものが何かを見つけることが難しいと思っています。

会長； 最後の審議会と言うことで、皆さん何か思っていることがありましたらどうぞお願いします。他にございますか。

なければ、この市町村合併のまとめ(案)については終わりたいと思います。その他はございますか。

事務局； 合併のまとめですが、本日山北地区の地域審議会に始まりまして2月9日に荒川地区を最後に各地区の意見を聞かせていただきます。本日、お聞かせいただきました追加する表や資料、意見は、他の地区からも出てくると思えます。最終的な修正内容については、各地区の会長さんに一任するようお願いし、会長さんに確認いたしまして承認いただいたものを最終まとめとしたいと思いますので、事前にご了承いただきたいと思えます。

会長； ご異議ございませんか。

委員； 【委員全員異議なし】

会長； 後はありませんか。

事務局； 今後の日程ですが、市町村合併のまとめにつきましては、3月14日に各地区の正副会長様にお集まりいただきまして、市長副市長へ提出といった形をとらせていただきます。その際には、会長、副会長へはご足労いただきますが、市長、副市長と合併を振り返ってということで意見交換をさせていただければと思います。また、改めまして詳細をご案内させていただきます。

会長； それでは、本日予定していましたがすべて終了しましたので議事を閉じたいと思えます。

事務局； 最後に副会長から閉会のご挨拶をお願いします。

## 5. 閉 会

副会長； 皆様には大変長い間ありがとうございました。いろいろなご意見もございましたが、要は、合併して市が活性化して、これから良い市になるように向かっていくことが大切だと思っています。是非ともこれまでの皆さんの意見を反映していただいて、素晴らしい市にしていきたいと思います。

また、委員の皆さまもそれぞれのところで、これからもご活躍されることを願っております。

どうもありがとうございました。

閉会 (11 : 19)